

授業で使える！！

実験

工作



アンモニアの噴水実験

「アンモニアの噴水が上がらなかった」ということはないでしょうか？アンモニアの噴水実験は色の変化をはっきり見ることができるので、児童と生徒にとって、とても興味と関心もてる実験です。成功させたいですね。そこで、失敗しない方法と実験のコツを今月のサイエンスの達人に教えてもらいました！！



サイエンスの達人



アンモニア噴水実験のコツ

- ・アンモニア水をあたためながらフラスコを回すべし
- ・水を入れる際は注射器を使うべし
- ・フェノールフタレイン液の代用として、ムラサキキャベツの煮汁を使うべし

岩岬先生



解説

- ・アンモニア水をあたためるとアンモニアが発生します。水に溶解しやすいアンモニアを上手に溜めるために、フラスコを乾燥させておくが良いです。アンモニア水がこぼれない程度にフラスコを傾けて回しながら溜めていくと、アンモニアがフラスコ内部に十分に溜まっていきます。
- ・水を入れる際は、よくスポイトが使われるが、注射器の方が水を入れやすいです。
- ・フェノールフタレイン液が手にかかる場合があります。ムラサキキャベツの煮汁だと手にかかったとしても安全に実験ができるのです。

